

IMP396 USBタイヤ空気圧モニター

取扱説明書

SEIWA®
BURNOX

この度は弊社製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。ご使用前に本書(取扱説明書)をよく読み、製品を安全にお使いください。

- ※この取扱説明書については、予告なしに変更することがあります。
- ※製品改良のため、予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- ※掲載されているイラストは全てイメージです。
- ※記載されている商品名及び社名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

- TPMS : Tire Pressure Monitoring System (タイヤ空気圧監視システム)は、タイヤの空気圧や温度を直接測定して、その情報を無線で送信し、ドライバーに知らせるシステムです。
- 本製品は、タイヤバルブに装着することでタイヤの異常を検知するデバイスです。

安全にご使用いただくために

- 本製品の取り付けは正しく行い、走行前に本製品が確実に取り付けられていることを確認してください。取り付けが不完全なままご使用になりますと脱落等による事故の原因になります。
- 下記の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任、保証は負いかねます。

1 安全上の注意

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- 本製品は無理な操作・使用をすると正常に動作しなくなる場合があります。製品に破損や異常が見られる場合は、ただちに使用を中止してください。ケガや事故の原因となります。●本製品は乗用車用です。トラック、バスやオートバイなどの車両には使用しないでください。●本製品はタイヤのバースト(パンク)を防止するものではありません。万が一バーストしても弊社は一切の責任を負いかねます。●本製品は一般公道での使用を前提に設計されており、サーキット走行等の過酷な条件下でのご使用はご遠慮ください。●タイヤバルブは使用環境によって劣化します。本製品を使用する前に、バルブを点検して、異常がある場合は新品に交換してください。また、タイヤ交換時にはバルブを新品に交換してください。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害の発生が想定される」内容です。

- 振動などで送信センサーが外れないようにしっかりと取り付けください。日常点検や定期点検、送信センサーの緩み、タイヤ目視による確認を併用していただくようお願いいたします。●送信センサー取り付け時はセンサーを奥までしっかりと締めてください。ただし、きつく締めすぎるとバルブやセンサーのゴムパッキンに損傷をきたすことがありますので十分に気をつけて設置してください。●送信センサーの電池の蓋はねじ山に対してまっすぐであることを確かめて閉めてください。斜めに曲がったまま閉めると蓋が閉まらなくなる場合があります。●送信センサーの設置完了後、送信センサーの付近から空気が出ないことを石鹼水などを使用して確認してください。●付属の専用レンチは送信センサーの脱着に必要ですので、装着が終わっても必ず保管してください。●本製品が異常を知らせた場合、安全な場所に停車し速やかにタイヤの点検を行ってください。●本製品ケーブルのプラグをアクセサリーソケットの中に入れてください。感電や発火のおそれがあります。●ケーブルのプラグに水気やホコリ、異物を付着させないでください。●ケーブルのプラグに無理な力を加えないでください。●使用中に本製品や本製品ケーブルから多少熱が発生する場合がありますので、布や布団でおおったり、くんだりしないでください。●本製品ケーブルの抜き差しの際は、必ず本製品を丁寧に扱ってください。●上記の警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用・分解・改造をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任は負いかねます。

使用上の注意

- 運転中に受信モニターの画面をチェックする場合は必ず停車中に行ってください。
- 本製品は送信センサー電池の寿命を長くするため(電池の使用量を抑えるため)、一定時間(約10分程度)停車状態が続くと、省電力モードになります。省電力モードは本機を取り付けた車両が時速20km程度以上になると自動的に送信センサーからのデータ送信を行い、省電力モードをやめデータの更新を再開します。
- タイヤ空気圧と温度は、天気や時間、走行する道路のコンディションによって異なります。特に運転直後の受信モニターの数値が変動することは、通常現象です。

開封と内容物の確認

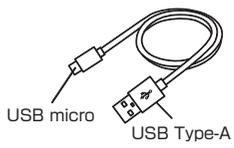
- 開封後、下記の「セット内容」を参考に内容物の確認をお願いします。

セット内容

本製品の構成と名称



受信モニター



USB micro
USB Type-A
USB ケーブル



送信センサー4個
(テスト電池入り)

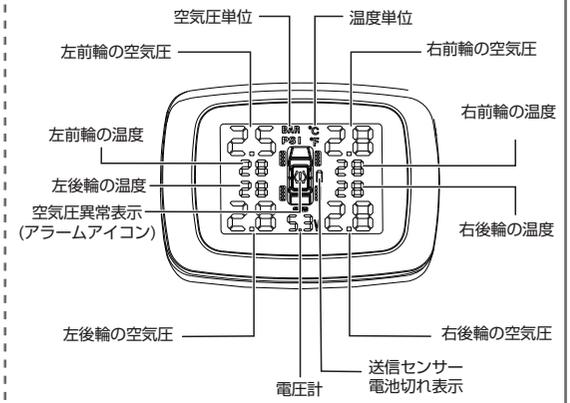
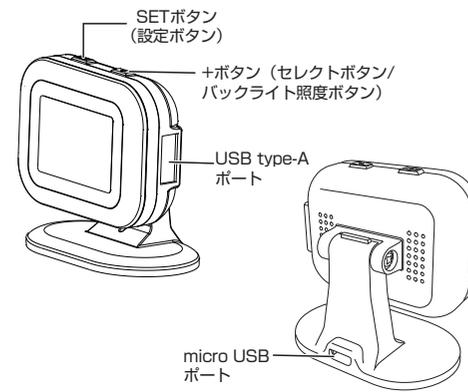


落下防止用ナット4個



専用レンチ

【受信モニター】



- 空気圧単位: BarもしくはPSIのどちらかを選択し表示できます。
- 温度単位: 摂氏(°C)もしくは華氏(°F)のどちらかを選択し表示できます。
- タイヤ空気圧・温度表示: タイヤの空気圧・温度が設定値から外れた場合、異常箇所が点滅し、アラーム音が鳴ります。
- 電圧計: USB入力のため5V前後を表示します。

【製品仕様】

- 受信モニター側
 - ・入力電源: USB DC5V / 5mA
 - ・動作温度範囲: -20°C ~ 70°C
 - ・計測温度範囲: -40°C ~ 130°C (公差±3°C)
 - ・個空気圧計測範囲: 0 ~ 8.0Bar (公差±0.1Bar)
 - ・製品寸法 / 製品重量: W 52 × H 51 × D 32mm / 39g
 - ・コード長: 約 1m
- 送信センサー側
 - ・送信周波数: 433.92MHz ※電波法認証品
 - ・送信距離: 推奨使用距離0 ~ 15m (最大到達距離50m) ※車種や使用状況により送信距離は異なります。
 - ・電源: CR1632 電池 4個
 - ・動作温度範囲: -40°C ~ 125°C
 - ・IP等級: IP67
 - ・製品寸法 / 製品重量 (1個あたり): W 22 × H 17 × D 22mm / 12g
 - ・連続使用日数: 約1 ~ 2年 ※使用環境により異なります。
 - ※送信センサーにはテスト電池が入っています。

空気圧の単位について

- 純正タイヤの指定空気圧は運転席開口部、または、車両の取扱説明書をご確認ください。本製品は kPa, kgf/cm²の単位表示はできません。車両の取扱説明書、または下表の空気圧換算表を参考にしてください。

【空気圧換算表】

Bar	Psi	kPa	kgf/cm ²	Bar	Psi	kPa	kgf/cm ²
1.1	16	110	1.1	3.1	45	310	3.1
1.2	17	120	1.2	3.2	47	320	3.2
1.3	19	130	1.3	3.3	48	330	3.3
1.4	20	140	1.4	3.4	50	340	3.4
1.5	22	150	1.5	3.5	51	350	3.5
1.6	23	160	1.6	3.6	53	360	3.6
1.7	25	170	1.7	3.7	54	370	3.7
1.8	26	180	1.8	3.8	55	380	3.8
1.9	28	190	1.9	3.9	57	390	3.9
2.0	29	200	2.0	4.0	58	400	4.0
2.1	30	210	2.1	4.1	60	410	4.1
2.2	32	220	2.2	4.2	61	420	4.2
2.3	33	230	2.3	4.3	62	430	4.3
2.4	35	240	2.4	4.4	64	440	4.4
2.5	36	250	2.5	4.5	65	450	4.5
2.6	38	260	2.6	4.6	67	460	4.6
2.7	39	270	2.7	4.7	68	470	4.7
2.8	41	280	2.8	4.8	70	480	4.8
2.9	42	290	2.9	4.9	71	490	4.9
3.0	44	300	3.0	5.0	73	500	5.0

2 取り付け方法

取り付け位置について

国土交通省の定める「道路運送車両の保安基準」の改正（平成17年1月1日）に伴い、下記の範囲内の前方視界を確保することが義務付けられています。

本製品（および携帯電話）を取り付ける際は、下図を参考に、運転者の前方視界を妨げないように取り付けてください。

前方視界基準（抜粋）

※2022年12月調べ

1. 対象車種

- 専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員1人以上のものを除く。）
- 車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車（いずれも使用過程車を含む。）

2. 適用時期：平成17年1月1日より

3. 基準概要

(1) 要件

- 自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱（5個を直線上に並したものを鏡等を用いず直接視認できること。

(2) 適用除外

- Aピラー（窓枠のうち車両前面にあるもの）、ワイパー及びステアリングホイールにより死角となる部分。

※いずれの基準もハンドルの左右位置に応じて左右逆となります。

【送信センサーの取付け位置】

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、図のようにホイールの中心より80°内に（前方30°及び後方50°）対して、車両のフェンダーから送信センサーが突出しないようにしてください。

スペーサーを取り付けた車両に本製品を取り付けると、保安基準に適合しない場合があります。

取り付け位置について

本書及び本製品のパッケージ記載の取扱説明に従わない場合など、誤ったご使用での事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任は負いかねます。

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、

下図イラストのように運転者の視界や

運転操作を妨げないように取り付けてください。

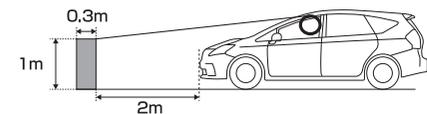
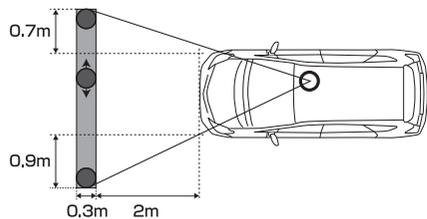
道路運送車両の保安基準 第21条（運転者席）

道路運送車両の保安基準 第44条（後写鏡等）

※詳細は、道路運送車両の保安基準を参照ください。 ※2025年11月調べ

前方視界について

- 自動車の直前2mにある高さ1m直径0.3mの円柱を鏡等を用いず直接確認できること。
- ※左ハンドル車は左右逆の解釈になります。



直前直左視界について

- 自動車の前面及び左側面に接する高さ1m、直径0.3mの円柱（6歳児を模したものを）を直接に又は鏡、画像等により間接に視認できること。

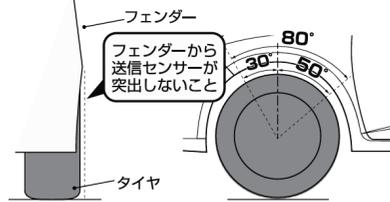
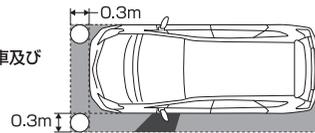
※左ハンドル車は左右逆の解釈になります。

適用外エリア

ピラーまたは室外後写鏡により視界が遮られるエリア

視覚の範囲

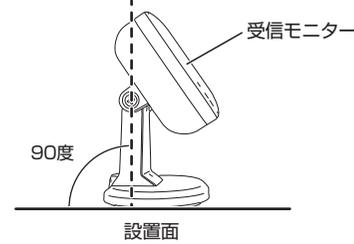
小型、軽自動車及び普通自動車



受信モニターの取り付け

- ①左記内容（前方視界基準）に該当せず、運転操作に影響しないような位置に貼り付け場所を決め、貼り付け位置の汚れや油分を拭き取ります。

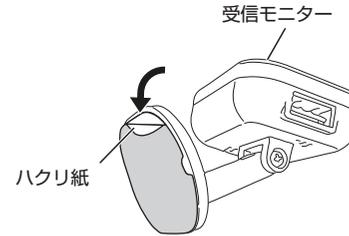
※汚れや油分が残っていると確実な接着ができません。



- ②受信モニターの底面に貼られている両面テープのハクリ紙をはがします。

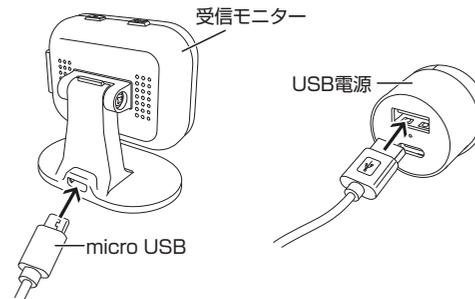
- ③受信モニターを設置面に垂直に貼り付けます。

※皮革、布地には貼り付けできません。

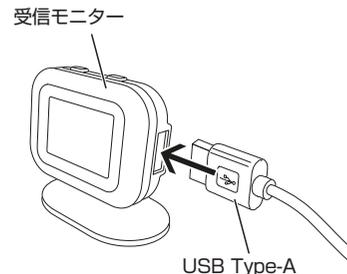


- ④受信モニターにUSBケーブルのmicro USB端子を挿し込み、USB Type-A端子を車内のUSB電源に挿し混んでください。

※USBケーブルのプラグはまっすぐ抜き挿ししてください。プラグに無理な力を加えたり、斜めに引っ張らないでください。プラグや接続部の破損に繋がります。



※受信モニターに搭載されたType-Aポートは、電力供給に対応しています。お手持ちのデバイスを接続することで、充電用電源としてご利用いただけます。



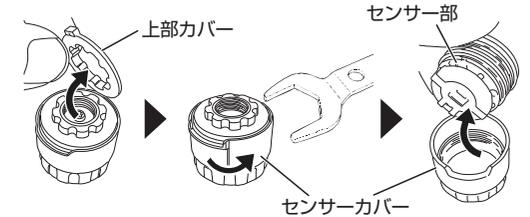
送信センサーの電池を交換する

※お買い求めの際は、送信センサーにはテスト電池が入っておりますので、そのまま利用いただけます。（テスト用のため普通の電池より早く電池の交換時期を迎えることがあります。）
※受信モニターに電池切れが表示がされたら、全ての電池を交換することをおすすめします。

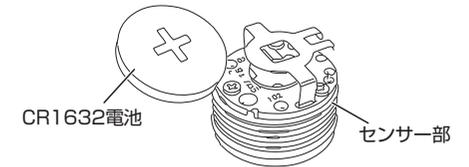
- ①上部カバーを取り外し、センサーカバーを反時計回りに回し、センサー部とセンサーカバーを分離してください。

※センサーカバーの取り外しには専用レンチを使用してください。
※上部カバーを取り外す際に、爪で外さないでください。爪をケガすおそれがありますので、ご注意ください。

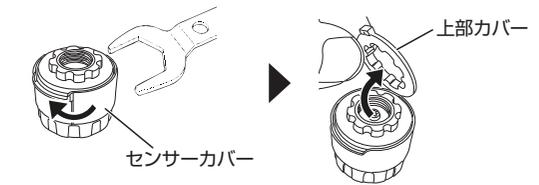
※専用レンチのコの字側が使い難い場合、イラストと逆の輪側をお使いください。



- ②使用済み電池を外し交換するCR1632電池の十面を上にして奥まで差し込みます。



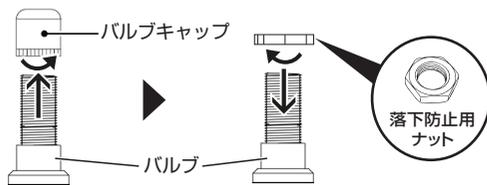
- ③センサーカバーを時計回りに回してしっかりとすき間なく閉め、上部カバーを突起が本体側の溝に合うように取り付けてください。



送信センサーの取り付け

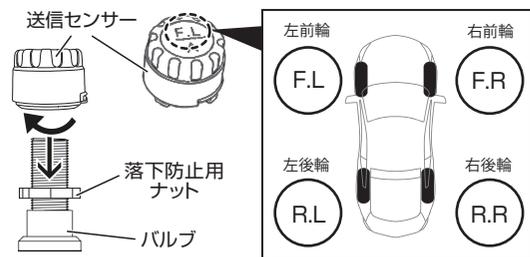
※送信センサーを装着の際、バルブに水分が付着した状態で装着すると、送信センサーが故障するおそれがあります。装着部をしっかり乾燥させてから取り付けてください。

①タイヤのバルブキャップを取り外し、落下防止用ナットをバルブの奥まで回し入れてください。

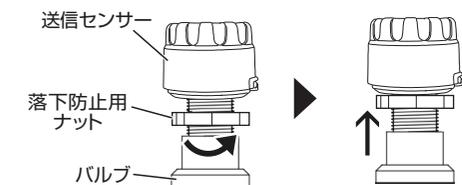


②4個の送信センサーを送信センサー上部に記載の個所に取り付けてください。

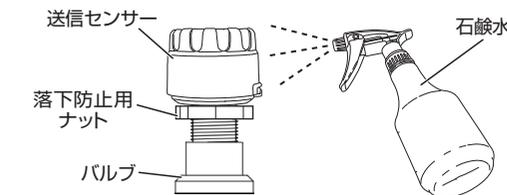
※送信センサーがしっかりとタイヤバルブに装着されていないと空気漏れの原因となります。



③落下防止用ナットを回し締め付けてください。
※締め付けが弱い場合送信センサーのゆるみの原因となりタイヤの空気漏れや送信センサー脱落の原因となります。
※落下防止用ナットの締め付けには専用レンチを使用してください。



④バルブと送信センサーの付近に石鹸水をかけ、空気漏れがないか確認してください。

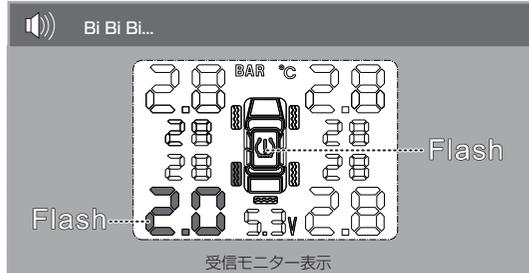


3 使用方法

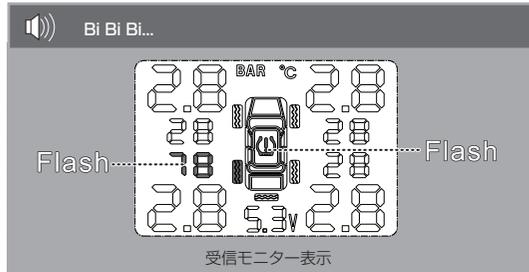
- 受信モニターをオンにすると、モニターは2秒間セルフテストモードになります。2秒後、すべてのアイコンがLCD画面に表示され、新しいデータを受信できる状態になります。ACCをオフにすると、モニターはオフになります。
- 速度が20キロメートルに達すると、センサーが作動し、圧力と温度のデータを検知して送信を開始します。

アラームに関する説明

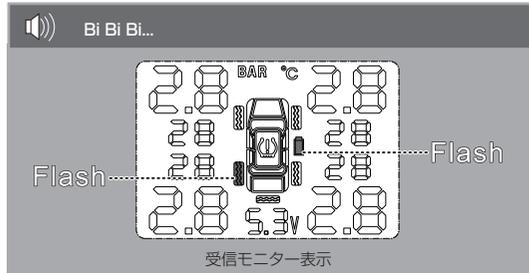
- a) タイヤの空気圧が設定範囲を超えている場合、またはタイヤが空気漏れしている場合、対応するタイヤ位置アイコン、圧力データ、アラームアイコンが同時に点滅し、内蔵ブザーが「Bi Bi...」と鳴ります。
注：いずれかのボタンを押すとブザーを停止できますが、対応するアイコンはすべて点滅したままで、ブザーは1分ごとに1回鳴ります。



- b) タイヤの温度が設定データを超えると、対応するタイヤ位置アイコン、温度データ、アラームアイコンが同時に点滅し、内蔵ブザーが「Bi Bi...」と鳴ります。
注：いずれかのボタンを押すとブザーを停止できますが、対応するアイコンはすべて点滅したままで、ブザーは1分ごとに1回鳴ります。

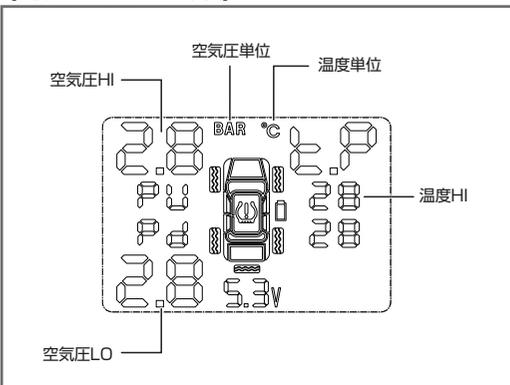


- c) 送信センサーの電池残量が少なくなると、対応するタイヤ位置アイコンとセンサーの電池残量低下アイコンが同時に点滅し、内蔵ブザーが「Bi Bi...」と鳴ります。
注：いずれかのボタンを押すとブザーを停止できますが、対応するアイコンはすべて点滅したままで、ブザーは1分ごとに1回鳴ります。



設定操作に関する説明

【受信ディスプレイの設定画面】



- 設定モードの入り方
 - ①SETボタンを約5秒間長押しします。
 - ②長いピーブ音が1回鳴ったら指を離すと、設定モードに入ります。
- 設定の切り替え方法
設定モードでは、SETボタンを短く押すことで、下記の項目が順番に切り替わります。
※点滅している項目が現在選択されている設定です。
 - ・圧力単位の選択
 - ・温度単位の選択
 - ・空気圧 HI アラーム設定
 - ・空気圧 LO アラーム設定
 - ・温度 HI アラーム設定
- 各項目の設定方法
+ ボタンを押して、選択中の項目を調整します。
- 設定の確定方法
すべての設定が完了したら、SETボタンを約3秒間長押しします。短いピーブ音が1回鳴ると設定が保存され、設定モードが終了します。
※設定モードに入った後、3分間操作がない場合は自動的に設定モードを終了し、通常モードに戻ります。

空気圧HIアラーム設定/LOアラーム設定

- 空気圧HIアラーム設定
 - ①SETボタンを数回押して、表示部の「空気圧 HI」が点滅している状態にします。
 - ②+ボタンを1回ずつ押して、アラームが鳴る空気圧の値を設定してください。
 - 空気圧LOアラーム設定
 - ①SETボタンを押して、表示部の「空気圧 LO」が点滅している状態にします。
 - ②+ボタンを1回ずつ押して、アラームが鳴る空気圧の値を設定してください。
- 注：HIアラームの設定値は、必ずLOアラームの設定値より高くしてください。
設定可能範囲 空気圧 HI アラーム：2.1 ~ 6.0 Bar
空気圧 LO アラーム：0.5 ~ 2.0 Bar

温度HIアラーム設定

- ①SETボタンを押して、「温度 HI」表示が点滅している状態にします。
- ②+ボタンを1回ずつ押してアラームが鳴る温度を設定してください。
- ③SETボタンを3秒間押し続け、短いピーブ音が1回聞こえたらボタンを離すと、設定データが保存され、モードが終了します。
(注：温度上限調整範囲：50℃~99℃)

圧力単位の設定

- ①SETボタンを押し、表示部の Bar または PSI アイコンが点滅する状態にします。
- ②+ボタンを押して、お好みの表示単位 (Bar または PSI) を選択します。
- ③単位を選択したら、SETボタンを約3秒間長押ししてください。
- ④短いピーブ音が1回鳴ったらボタンを離すと、設定が保存され、設定モードが終了します。

温度単位の設定

- ①SETボタンを押し、表示部の °C または °F のアイコンが点滅する状態にします。
- ②+ボタンを押して、お好みの温度表示単位を選択します。
- ③単位を選択したら、SETボタンを約3秒間長押ししてください。
- ④短いピーブ音が1回鳴ったらボタンを離すと、設定が保存され、設定モードが終了します。



動画でトリセツ

スマホカメラでQRをスキャン
動画でも取り付け方法をご紹介します。
QRコードからご確認ください。

➤ 本製品に関するお問い合わせは

受付時間/AM10:00~PM5:30月曜日~金曜日(祝日休業)
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町6-1

☎ 0570 (039) 710



220-J10334